

論文審査の結果の要旨

報告番号	博(医歯薬)甲第143号	氏名	副島 和孝
学位審査委員	主査	近藤 宇史	
	副査	佐藤 伸一	
	副査	小路 武彦	
論文審査の結果の要旨			
<p>1 研究目的の評価 本研究は、シェーグレン症候群（SS）における口唇腺浸潤 T 細胞での JNK カスケードの活性化を検討し、慢性炎症との関連性と明らかにしようとしたもので、目的は十分に妥当である。</p>			
<p>2 研究手法に関する評価 6名の原発性SS患者の口唇腺生検により得られた組織を4%パラホルムアルデヒドで固定して試料とした。単核球浸潤は Chisholm & Mason による grading で分類し、単核球上のタンパク質同定は SAB 法による免疫組織染色法で行った。JNK カスケードの活性は特異抗体を用いた免疫組織学的手法で測定した。研究手法も妥当である。</p>			
<p>3 解析・考察の評価 上記手法で解析した結果、SS 患者の口唇腺組織に浸潤した単核球にリン酸化された MKK4, JNK, c-Jun の発現を認めた。これらの変化は CD4 とともに CD8 陽性 T 細胞でも発現していた。これらの結果は、本症でこれらの細胞浸潤と炎症性サイトカインの活性化やアポトーシス抵抗性が深く関連していることを示唆するもので、JNK カスケードを指標とした治療法の開発も大いに期待される。</p>			
<p>以上のように本論文は自己免疫疾患治療の進展に貢献するところが大きく、審査委員は全員一致で博士（医学）の学位に値するものと判断した。</p>			